

報道関係者各位

2024年7月24日
和光会グループ

岐阜県内初！安全で快適な日常を取り戻す「自動車運転支援外来」スタート 専門の診断とリハビリをワンストップで提供する自動車運転再開支援プログラムで、 病気をしても再びハンドルを握れるように

2024年8月より、医療法人和光会山田病院（岐阜県岐阜市）では「自動車運転支援外来」を開始します。本外来は脳卒中、頭部外傷、脳疾患の術後などで、片麻痺や高次脳機能障害があるため、自動車運転を再開することが難しい方や、自動車を運転するのに不安がある方など、自動車運転に関連する問題を抱える方が、安全に運転し、生活の質を向上させるための専門外来です。

山田病院では従来より入院患者さんの生活、社会復帰に向けてのリハビリテーションの一環として自動車運転支援を行っていましたが、近年の高齢ドライバーや基礎疾患を持つ方の重大事故の増加や、この地域で暮らす方々の生活上の不便を解消し、社会参加や趣味を遂行し、自分らしく生活するためには自動車運転の再開が必要とされる状況から、専門外来を設けることになりました。

自動車の運転には、認知・予測・判断・操作といった総合的かつ瞬間的な機能が要求されます。頭部外傷や脳卒中後の高次脳機能障害の患者さんは、これらの能力が低下する可能性があります。

当院のプログラムでは、まず神経心理学的検査で社会生活に必要な注意力や記憶力、理解力、判断力の評価を行います。その後、ドライビングシミュレーターを用いた模擬運転評価や停止車両評価にて自動車運転に必要な技術を確認します。そして、医師との面談を経て、提携自動車学校内のコースで実際に運転する実車訓練を行います。また板金会社とも連携しているため、車両改造の提案を含めた一人ひとりのニーズに合わせたサポートの提供が可能です。

一定の病気に該当する方が自動車運転を再開することは、道路交通法により厳しく制限されています。しかし、この地域では自動車運転が生活の一部であり、再開できないことは日常生活において生活範囲が狭まり、生活の充実に影響します。

山田病院自動車運転支援専門チームでは、病気により体の不自由さが残ったとしても、患者さん一人ひとりが持つ「できる力」を引き出し、以前の日常生活を健康上の問題で諦めることがないよう、一体となって総合的に支援いたします。

■概要

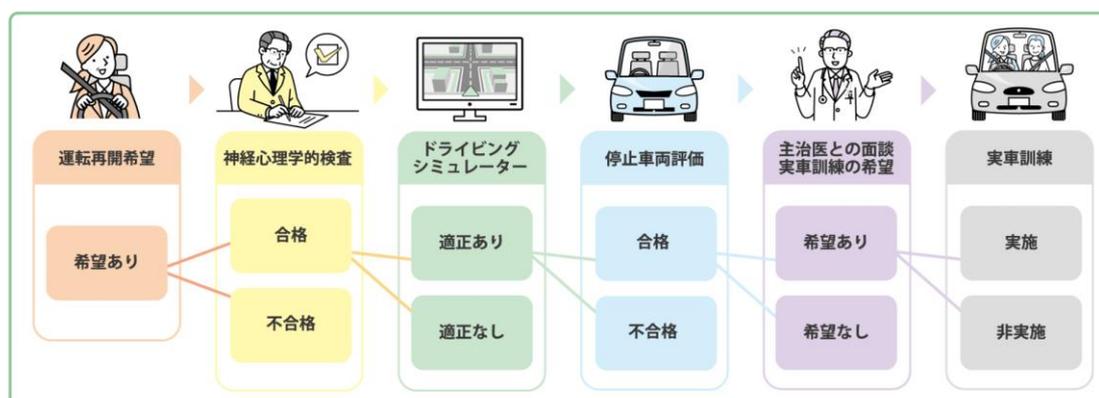
山田病院（岐阜市寺田7丁目110番地）

外来日：第2・4水曜日（14:00～16:00 完全予約制）

担当医：安藤弘道

（脳神経外科学会専門医、リハビリテーション学会認定医、ニューロリハビリテーション学会認定医）

■自動車運転再開までの流れ



神経心理学的検査

社会生活に必要な注意力、記憶力、理解・判断力などを机上課題で評価します。自動車運転においては、「継続して周りに注意を向けることが出来る」、「交通ルールの記憶」「状況に応じた適切な運転操作や判断力」など様々な能力が必要となります。



ドライビングシミュレーター

実際の運転に近い状況で操作していきます。反応速度の測定、道路交通法を遵守して道路状況に応じた運転が可能か、また危険予測と回避行動がとれるかどうかなどを客観的に評価します。



停止車両評価

運転能力を確かめるために停止した車両を使用する評価方法です。具体的な車両感覚や運転操作能力を評価し、運転支援の必要性を判断する際に役立ちます。具体的な運転に必要な能力や操作力を考慮し、運転支援の方針を立てる上で重要なツールとなります。



実車訓練

連携する自動車学校内のコースを実際に運転します。自動車への乗車、自動車の発進までの過程、一般走行中の評価を教習官と共に観察して実施します。2時間の訓練で、運転中の集中力や疲労感なども観察より評価します。

実車評価後に再度主治医と面談を行い、問題が無かった場合に運転免許センターにて「適性検査」や「運動う能力テスト」を受験し、合格すれば運転再開が公式に許可されます。

■リリースについての問い合わせ

和光会グループ

理事長室 村瀬真由

[TEL:080-7714-8107](tel:080-7714-8107) MAIL:rji@wakokai.or.jp